

第 22 回都市政策研究交流会

「福祉と環境のベストミックスを目指す「ごみ屋敷」対策」

いわゆる「ごみ屋敷」や樹木の繁茂、多頭飼育・給餌といった「住居荒廃」は、環境衛生、防災、防犯および景観上の支障などを生じさせ、地域の困りごととして、周辺住民や家族から行政に相談あるいは苦情が寄せられることも少なくありません。近年では、都市自治体が「ごみ屋敷条例」を制定し、法的規制による解決を図る動きが見受けられます。他方で、原因者が抱える生活上の課題を解決するための支援も不可欠です。このように、「ごみ屋敷」問題に取り組むにあたっては、本人の福祉と周辺住民の生活環境のバランスをとることが重要と考えられます。

そこで、第 22 回都市政策研究交流会では、2017 年度から 2018 年度にかけて設置された「住居の荒廃をめぐる法務と福祉からの対応策に関する研究会」の研究成果に基づき、都市自治体による「ごみ屋敷」対策の具体的な方策と実践に焦点を当て、学識者による講演および実務担当者による事例報告を行うとともに、参加者との質疑応答、意見交換をとおして、考える機会を提供します。

主催 公益財団法人日本都市センター

後援 公益財団法人大阪府市町村振興協会

日時 2019 年 9 月 5 日（木）13:30～16:30

会場 マッセ OSAKA 大ホール（大阪府大阪市中央区大手前 3-1-43 大阪府新別館南館 5 階）

プログラム

13:30	開会	
13:35～14:05（30 分）	学識者講演①	東邦大学大学院看護学研究科教授 岸 恵美子 氏
14:05～14:35（30 分）	学識者講演②	上智大学法学部教授 北村 喜宣 氏
14:35～14:45（10 分）	休憩	
14:45～15:05（20 分）	事例報告①	横浜市 健康福祉局地域福祉保健部 福祉保健課担当係長 佐々木 祐子 氏
15:05～15:25（20 分）	事例報告②	豊田市 環境部環境保全課 主査 山内 英裕 氏
15:25～15:40（15 分）	休憩	
15:40～16:25（45 分）	質疑応答・意見交換	
16:30	閉会	

参加者 都市自治体関係者、都市シンクタンク等の研究員、研究者等（定員 120 名）

※募集人数に達し次第締め切らせていただきます。

参加費 無料

申込み方法

別紙「参加申込書」に必要事項を記入の上、2019年8月30日(金)までに、FAX (03-3263-4059)にてお申し込みください。

会場アクセス

マッセ OSAKA 大ホール (大阪府中央区大手前 3-1-43 大阪府新別館南館 5階)

大阪市営地下鉄谷町線または中央線谷町四丁目駅下車

1-A 出口から新別館南館へ地下直通 または 1-B 出口から徒歩 1分



【事務局・問合せ】

公益財団法人日本都市センター 研究室 (担当: 釧持、原、高野)

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 日本都市センター会館 8階

TEL : 03-5216-8774 FAX : 03-3263-4059 E-mail : m-kemmochi@toshi.or.jp